



## 冬休み目前! 「冬の交通安全運動」を推進しましょう! ～自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底を～

### 「令和5年冬の交通安全運動」概要

- ☆期 間：令和5年12月10日（日）～12月19日（火）
- ☆スローガン：～飲酒運転は絶対しない、させない、許さない～
- ☆運動重点：
  - 1 飲酒運転の根絶
  - 2 夕暮れ時と夜間の事故防止と安全運転意識の向上
  - 3 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底



千葉県では、思いやり交通千葉を目指し「令和5年 冬の交通安全運動」を上記のとおり実施します。本号では特に、**運動重点の3「自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底」**について特集をします。各学校において、この期間に改めて児童生徒の「命を守る交通安全教育」や「冬休み前の交通安全指導」等を十分に行うなど、積極的な取組をお願いいたします。

児童生徒一人一人が交通ルールを遵守して、正しい交通マナーを実践することができるよう、交通事故防止の徹底を図っていきましょう。

### 1 「ちばサイクルール」の周知・徹底を!

このルールは、内閣府の「自転車安全利用五則」をもとに、「千葉県自転車条例」の内容を取り入れて制定されました。自転車の安全な利用を推進していきましょう。

#### 自転車に乗る前のルール

- 1 自転車保険に入ろう
- 2 点検整備をしよう
- 3 反射器材をつけよう
- 4 ヘルメットをかぶろう
- 5 飲酒運転はやめよう

#### 自転車に乗るときのルール

- 1 車道の左側を走ろう
- 2 歩いている人を優先しよう
- 3 ながら運転はやめよう
- 4 交差点では安全確認しよう
- 5 夕方からライトをつけよう

#### ☆ヘルメットをかぶろう!

道路交通法の改正により、令和5年4月1日から、全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメットの着用が努力義務化されています。各学校でも、事故時の被害軽減のため、乗車用ヘルメットは「命を守る安全装備」という認識を、改めて確認し、着用を徹底してください。

#### ☆自転車保険に入ろう!

令和4年7月1日から、千葉県自転車条例で、全ての自転車利用者に対する自転車損害賠償保険等への加入が義務化されています。事故時の経済的負担軽減のため、自転車保険への加入について乗車用ヘルメットと併せて、保護者及び児童生徒に周知をしてください。



## 2 「令和5年度自転車の安全利用に関する教育用リーフレット」の活用を！

県では、児童生徒の交通事故の増加が懸念されることから、自転車の安全利用について記載したリーフレットを作成しています。児童生徒・保護者向けに、令和4年度の交通事故のデータや交通ルールなどがわかりやすくまとめられています。県のホームページからダウンロードできますので授業のみならず、学級活動や集会等場面に応じて有効に活用してください。

**小学生の交通事故**  
令和4年度  
全県発生数 504人

**自転車のうち小学生の割合**  
発生件数 152件 (30.2%)

**違反種別**  
一時停止 12人 (7.9%)  
通行区分 3人 (1.9%)  
交通が安全通行 3人 (1.9%)  
その他 17人 (8.9%)  
違反なし 125人 (66.1%)

**保護者の方へ**

- ◆ご家族で自転車のルールやマナーについて確認しましょう。
- ◆タイヤの空気圧やブレーキの働きなどを定期的に点検しましょう。
- ◆事例動画にも反例教材をつけましょう。

**自転車保険に加入しましょう**

令和5年4月1日より  
全ての自転車利用者に対する  
専用ヘルメットの着用が  
義務化になりました。

**自転車に乗るときのルール ちばサイクルール**

**自転車は車両の仲間です**

①車道の左側を走ろう  
②歩いている人を優先しよう  
③ながら運転はやめよう  
④スマートフォンの携帯  
⑤ヘッドホン等で音楽

**自転車に乗るときのルール ちばサイクルール**

⑥交差点では安全確認しよう  
⑦夕方からライトをつけよう

「おぼえよう！自転車のルール」  
(小学校 中・高学年用)



「あなたとみんなの命を守るちばサイクルール」  
(中学生～成人用)



## 3 朝と夕暮れ時の事故防止を！～「止まる・見る・待つ」の習慣を～

令和5年4月7日付け千葉県警ホームページの「小学生の歩行中における交通人身事故の特徴について」によると、小学生の歩行中の死傷者の割合は登校時間帯の7時台と下校時間・放課後の14時台から17時までの間に81.4%と大半を占めています。さらに、小学生の歩行中の死傷者に「何らかの原因があった」のは36.2% (371人) で、そのうち「飛び出し」が77.1%と最も多く特に低学年に多いというデータもありました。

各学校において、児童生徒への「道路を横断する際の指導」では特に「**止まる・見る・待つ**」ことを習慣づけ、「**飛び出し**」の危険性や「**止まる**」ことの大切さを具体的に伝えていきましょう。

**とびだしぼうしのあいことば**

**とまる みる まつ**

どうろをわたるまえにとまる

くるまがきていないかみぎ、ひだりをみる

くるまがきていたら、とおりすぎるまでまつ

（保護者の方へ）  
子供の事故の中で最も多い飛び出し事故を防ぐため、「とまる・みる・まつ」の指導をお願いします。

## 冬の交通安全運動【推進事項より】子どもだけではなく大人も気を付けましょう！

### 「3（サン）・ライト運動の推進」

早めのライト点灯、こまめな切替え、  
反射材の活用、右からの横断者にも注意

### 「ゼブラ・ストップ活動」の推進

ゼ：前方をよく見て運転、ブ：ブレーキ操作で安全確認、ラ：3・ライトの徹底  
「キラリアップ☆ちば」による反射材の着用促進

キ：危険を回避、ラ：ライトアップ、リ：リフレクターやLEDライト

